

| | |
|-----|--|
| 実施日 | |
|-----|--|

| | | | | |
|------|------|------|----------------|-----|
| 患者番号 | 性別 | 身長 | cm | 指示医 |
| カナ氏名 | 生年月日 | 体重 | kg | |
| 患者氏名 | 年齢 | 体表面積 | m ² | |

Rp) パクリタキセル(タキソール) 100mg/m² day1,8,15,22,29,36 8週毎(6週投与2週休薬)

パクリタキセル投与30分前にレスタミン錠10mg5錠(50mg)内服

| | |
|-------|-----------|
| 本管① | Day36 |
| 生理食塩液 | 100mL 1 瓶 |
| | |
| | |

| |
|-----------|
| レジメンコメント1 |
| |
| レジメンコメント2 |
| |

| | |
|-----|------------------------|
| 側管① | 生理食塩液開始時5分かけて |
| 5分 | 【50mL】生理食塩液 50mL 1 瓶 |
| ↓ | ファモチジン注射用20mg「日医工」 1 瓶 |
| ↓ | デカドロン注射液1.65m 2 管 |
| | |

2回目以降(過敏症状発現ないとき)デカドロン注射液2管へ減量可

| | |
|-----|--------------------|
| 側管② | |
| 15分 | パロノセトロン点滴静注 |
| ↓ | バッグ0.75mg 50mL 1 袋 |
| | |

| | |
|-----|-----------------------|
| 側管③ | インラインフィルター使用 |
| 60分 | 大塚生食注 250mL 1 袋 |
| ↓ | パクリタキセル mg |
| ↓ | タキソール注射液100mg 16.7mL: |
| ↓ | タキソール注射液30mg 5mL: |
| | |

<実施時の注意>

漏出時:直ちに投与を中止し薬剤を吸引、洗浄し、ステロイドの局注、ステロイドの外用剤で対処する。
 0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを用いたインラインフィルターを通して投与。
 点滴用セット等で本剤の溶解液が接触する部分に、可塑剤としてDEHPを含有しているものの使用を避けること。
 溶剤として無水エタノールを含有するため、投与前に問診により適切かどうか判断すること。

<用量規制因子>

各クールを開始する際(初回クールを含む)、投与前の白血球数が3000/mm³未満又は好中球数が1500/mm³未満であれば、骨髓機能が回復するまでは投与を延期すること。同一クール内での本剤の投与にあたっては、投与前の白血球数が2000/mm³未満又は好中球数が1000/mm³未満であれば骨髓機能が回復するまでは投与を延期すること。投与後、白血球数が1000/mm³未満となった場合には次回の投与量を減量すること。
 また、重篤な末梢神経障害が発現した場合には、次回の投与量を骨髓抑制の減量目安に従い、減量して投与することを考慮する。
 減量の目安:100mg/m²→80mg/m²→60mg/m²

<注意すべき副作用>

●過敏症 ●食欲不振、吐き気 ●筋肉痛、関節痛 ●口内炎 ●手足のしびれ ●脱毛(頭髪、まつ毛、眉毛など)
 ●白血球減少 ●赤血球減少(貧血) ●血小板減少 ●肝機能低下